



かがやき

令和 7年 2月 6日 (木)

多摩市立連光寺小学校

特別支援教室

かがやき学級 学級通信

NO. 16

グループ指導内でのトラブル

そこにある生ものの「学び」

自立活動の小集団指導では学年や個々の課題に応じた数名のグループ指導を行っています。指導内容は個々の課題によりますが、今日は低学年グループでの指導エピソードを紹介します。このグループは、友達とのかかわりの「基礎」をテーマにした演習を組んでいます。

小集団における「順番」「発言のタイミング」「聞き方」「待ち方」「友達との言い方・伝え方」「相手との合わせ方(力加減・言葉)」等、毎時間指導テーマを絞り、グループの中での演習を通して学んでいきます。

今回の時間では、昔遊び「なべなべ(歌いながら手をつないでみんなで体を入れ替える遊び)」をしながら相手に合わせたり、自分の動きを認知したりする活動を行いました。最初は2人組で始めた「なべなべ」の演習でした。その中のAさんは、自分のやり方や進め方にこだわりのある児童です。「みんなと合わせて」「楽しく」という演習のキーワードに、なんとなく合わせる事が出来ずにいました。やがて4人でやってみようとなつたとき、かたくなに「いや!」と拒否してしまいました。周囲の教師も声をかけて促していくますが、なかなかみんなでやるという状況になれません。



すると、残りの3人の子が「Aちゃん、一緒にやろう!」「やろうよ!」と声をかけてくれました。すでに手をつないで「なべなべ」を始めた体制になっていた3人。その場の雰囲気もあってか、「もう、しようがないな」という流れでAさんが輪の中に加わることができました。そして4人での「なべなべ」が成功しました。

大集団の中ではこうした個人の「引っ掛けり」の部分を待つことが、難しいときもあります。その分、小集団グループ指導でのちょっとした「トラブル」は「生もの」として、学びのチャンスになります。自分の「引っ掛けり」にどう向き合うか、どう切り替えるか、また周囲の仲間はどう対応するといいか等、そこの部分をしつかり切り取って指導しています。グループ指導にはそのようなポイントがあります。

かがやき保護者会のお知らせ

かがやき後期の保護者会を、3月4日（火）3時30分より予定しております。低学年保護者会の後に実施予定です。ご参加いただけるか否かを、左記フォームよりご回答ください。

かがやき後期の保護者会

3月4日（火）3時30分

出欠連絡フォーム
※2月28日（金）入力〆切

特別支援教室・「かがやき」は何を勉強しているの？

年度始めの啓発学習や学校公開の折に、「特別支援教室」についての紹介をします。

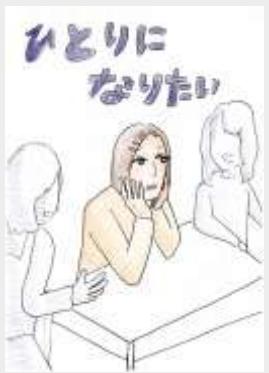
ただ、学校全体となると「特別支援教室」への理解はまだまだな部分もあります。定期的に教室掃除に来ている5年生からも「かがやきってさあ、何を勉強しているの？」と最近質問されました。そこで再度、来年度高学年となる4～5年生を中心に行発型の紹介授業を実施しました。内容としては概ね次の3点について伝えました。

① 人には誰しも得意、苦手の「凸凹」があり、その特性に気が付く人、気が付かない人もいる事。

② 何らかの「困り感」や「悩み」があるときに特別支援教室で「相談」しながら先生と一緒に、自分の状態を整理したり自分なりのやり方を見つけたりする事。

③ 「相談」の窓口は誰にでも開かれている事。

多様化している社会とは言え、多くの場面で「平均」を求められる社会でもあります。自分が自分らしく生きていくためのヒントを見つけ、そのためには「相談」できる、そんな場所として認識してもらえたたらなあと思います。



かがやき専門員の小窓

援助要請・SOSカードについて

かがやきでは、子供たちに「報告・連絡・相談」を最初に指導しています。何か困った事があった際、自分で解決できれば良いですが、なかなか難しい場合もありますよね。そのような時に周りの先生に相談することができれば、一緒に解決方法を考えることが出来るのではないかと思います。

そうは言っても、なかなか自分の言葉で伝える事が難しい子供もいます。そのような場合、かがやきではSOSカードというものを利用する事があります。カードを提示し、困り感を周囲に伝え、手伝ってもらうという経験を積みながら、「報告・連絡・相談」ができるようスキルが積み重なっていくと良いなと考えています。